

教科名〔 理科 〕

科 目 名	単 位 数	学 年 ・ 組	担 当 者 名
生 物 II	3単位	3学年1～6組 文系選択・理系選択	*

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	① 生物や生命現象についての基本的概念・原理・法則を理解する。 ② 実験・観察を行い、生物を含む自然に対する関心や探求心を高める。 ③ 実験を安全・性格に行う技能と、結果をまとめ考察する能力を習得する。 ④ 上記を通じ、身の回りの自然現象を生物学的に探求する態度・科学的な自然観を育成する。
使用教科書・副教材等	大日本図書 生物II プリント教材

2 学習計画及び評価法等

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備考 1. 学習活動の特記事項 2. 副教材の使用など	考 査 範 囲	評価の観点の ポイント				
						態 度	関 心 ・ 意 欲	思 考 ・ 判 断	技 能 ・ 表 現	知 識 ・ 理 解
第 1 学 期	I タンパク質と生物体の機能 1 生物体内の化学反応と酵素 2 物質とエネルギー代謝 3 タンパク質の機能	4 ・ 5	・生命活動の本質が化学反応（物質代謝とエネルギー代謝）であり、それを円滑に行うために酵素が重要な役割を果たしていることを理解する。 ・生物体に不可欠な有機物のうち、特にタンパク質が担う働きを理解する。	・実験観察 ・実験観察のスケッチおよびレポート内容。 ・随時プリント教材を使用し、要点整理・問題演習を行う。	第 1 学 期 中 間 考 査	○	○	○	○	
	II 遺伝情報とその発現 1 遺伝子からタンパク質へ 2 形質発現の調節と形態形成 3 バイオテクノロジー	5 ・ 6 ・ 7	・遺伝子の本体がDNAという物質であること、その遺伝情報に基づいて形質が発現する仕組みを理解する。 ・発展めざましいバイオテクノロジーが生活のどのような場面に利用されているかを知り、その利点・問題点を考察する。	・実験観察 ・実験観察のスケッチおよびレポート内容。 ・随時プリント教材を使用し、要点整理・問題演習を行う。	第 1 学 期 期 末 考 査	○	○	○	○	
第 2 学 期	III 生物の分類と進化 1 生物の分類 2 生物の系統 3 生物界の変遷	8 ・ 9 ・ 10	・生物を分類する方法と、系統に基づく分類の体系を学ぶことで、生物多様性を理解する。 ・地球の歴史とともに生命が歩んできた進化の道筋を理解する。	・実験観察 ・実験観察のスケッチおよびレポート内容。 ・随時プリント教材を使用し、要点整理・問題演習を行う。	第 2 学 期 中 間 考 査	○	○	○	○	

	4 進化のしくみ IV 生物の集団 1 個体群の構造と維持 2 生物群集と生態系	10 ・ 11 ・ 12	・進化のしくみについてのさまざまな学説について学び、進化の過程における生物と環境の関係を考察する。 ・生態系の構成要素である生物の集団がどのような規則性で成り立っているか、環境とどのように関係しているのかを学び、身近な生物を生態学的視点で観察できるようにする。	・実験観察 ・実験観察のスケッチおよびレポート内容。 ・随時プリント教材を使用し、要点整理・問題演習を行う。	第2学期期末考査	○	○	○	○
第3学期	3 生態系とその保全 V 課題研究	1 ・ 2 ・ 3	・ヒトも生態系の一構成要素であることを理解し、さまざまな環境問題にどのように対処していくべきかを考察する。 ・選択したテーマについて、資料を収集・検索し、自分なりの考えをレポートとしてまとめる。	・実験観察 ・実験観察のスケッチおよびレポート内容。 ・随時プリント教材を使用し、要点整理・問題演習を行う。	学年末考査	○	○	○	○
【1・2・3学期における課題・提出物等】 授業中に配布する学習プリント、実験実習のレポート、夏期・冬期休暇中の宿題等。									
【1・2・3学期における評価方法】 考査評価、課題プリントへの取り組み状況、ノートチェック、授業態度などを総合評価。									